

あとがき

『牧園町郷土誌』は、昭和四十四年に発刊され、その後、昭和五十六年に町制四十周年を記念して、郷土誌研究家窪田仲市郎委員を中心に改訂執筆がなされています。

たまたま、平成二年が町制五十周年に当たり、町制五十周年記念事業の一環として、町郷土誌改訂の運びとなり、平成二年三月に改訂の骨子ができあがり、同年四月に、前郷土誌編集委員を中心に、窪田仲市郎委員、今別府元委員、前田俊明委員、深迫敦雄委員、小谷重義委員、廣山忠義委員が委嘱されて、平成三年八月刊行をめどに平成二年四月から編集作業に着手しました。

基本的な編集方針として、(1)既刊誌を土台として尊重しながら、過去十年間の産業・経済・社会の変遷した事象や、不足の部分を補足する。(2)図表や写真を多くし、できるだけ用語や文章を分かりやすく、現代的で親しまれる読み物とする。このような基本事項を確認して編集作業を進めました。が、わずか一年余りの短時間で脱稿、印刷の段階に入ることができたのは、執筆者各位の熱意と努力はもちろん、既刊郷土誌の原文や、写真・資料などを多用できたためであり、既刊誌の編集に当たられた諸氏に深く感謝し、心から敬意を表します。

委員各位には、一〇回以上の会議に出席いただき、資料の収集、原稿の執筆、写真の撮影など、昼夜を分かたずに奔走していただいたおかげで、九〇〇ページに及ぶ、すばらしい郷土誌の完成を見ることができました。

ことに対し、深甚なる謝意を表します。

また、ここに至るまでには、多くの機関・団体・個人の方々による資料の提供、ご援助とご教示を頂いたことに対しても心から感謝申し上げます。

終わりに、完べきを期したつもりでも、あれこれ不備や欠陥があり、ご期待に添えなかったことをおわびします。なににごにも「真実を求めましたが、完全はあり得ない」ことをご理解いただき、寛大にご容赦ください。本誌が広く町民の皆様に使活され、牧園町の活性化、発展に役立てばこの上もない幸せであります。

また、刊行について、適切なアドバイスを頂きました第一法規出版株式会社に対し心からお礼申し上げます。

平成三年四月十日

牧園町郷土誌編集委員会事務局

万造寺 美行



万造寺

今別府

深迫

窪田

小谷

前田

梶原

廣山

牧園町郷土誌編集執筆分担

第一編	自然・地誌	小谷 重義
第二編	牧園の神話	今別府 元
第三編	原始・古代	
第一章	第三章	万造寺美行
第四章	第六章	今別府 元
第七章		窪田仲市郎
第八章		今別府 元
第四編	中世	今別府 元
第五編	近世	窪田仲市郎
第六編	近代	窪田仲市郎
第七編	現代	
第一章	一 政治	小谷 重義
	二 財政	前田 俊明
	三 六	深迫 敦雄
第二章	第三章	深迫 敦雄
第四章		前田 俊明
第五章		万造寺美行
第八編	觀光	廣山 忠義

第九編 社寺・史跡

第一章 一 六

七 八

第二章 第四章

四 七

第十編 民俗

第十一編 牧園町の発展

写真

〃

窪田仲市郎	万造寺美行	窪田仲市郎	万造寺美行	深迫 敦雄	万造寺美行	廣山 忠義	町広報課他
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

事務局

牧園町教育長	原田 浩幸
社会教育課長	梶原 茂信
社会教育指導	万造寺美行
事務嘱託	



現教育長 迫田育郎

現町役場各課長



後列左から

宇都口・長崎・曾山・宮原(広)・芦谷・黒木・川野

二列目

梶原・宮原(満)・大重・堀之内

前列左から

永吉・徳永・山内・繁田

年 表

年 号	西暦	事 項
昭和	57	1982 多目的営農研修施設完成（中津川）。第16回全日本高等学校馬術競技大会牧園牧場で開催。
〃	58	1983 関平温泉飲料水化施設完成。牧園町青少年健全育成町民会議発足。
〃	59	1984 小谷大橋完成。第35回全国植樹祭、天皇陛下自然教育の森で杉苗お手植え。
〃	60	1985 町立学校給食センター完成。第1回鹿児島県レクリエーション大会を保養センターで開催。三体太鼓踊り復活。霧島スカイライン無料化。
〃	61	1986 栗川大橋完成。横瀬地震。第1回霧島高原ジャンピングサマーフェスティバル開催。総合運動場建設開始。九面太鼓に女子部誕生。
〃	62	1987 三体幼稚園園木造園舎完成。第1回霧島高原サイクルジャンボリー開催。
〃	63	1988 日の出温泉「きのこの里」完成。役場事務コンピューター化。関平鉱泉新販売所完成。牧園高校馬術部全国馬術大会で優勝。万膳小学校新校舎完成。町新庁舎用地買収始まる。
平成	元	1989 坂本龍馬・お龍像完成。界子仏・高天原遺跡発掘調査。
〃	2	1990 大関霧島閨誕生。殿湯大橋完成。日本一大茶樹全国植樹祭会場へ移植。県茶業振興大会牧園町で開催。中園遺跡発掘調査。町福祉の里オープン（塩浸温泉）。町営牧場四十周年記念。町制五十周年記念式典。牧園町総合振興計画策定。
〃	3	1991 大関霧島大相撲初場所で優勝。湾岸戦争（84日）。デイ・サービス事業開始。町新庁舎着工。

年 号	西暦	事 項
昭和 41	1966	牧園高校畜産科募集停止。カラーテレビ本放送開始。
〃 42	1967	宿窪田～安楽間バイパス開通。
〃 44	1969	牧園高校畜産科最終卒業式。町内中学校 6 校を統合し牧園中学校発足。中学校跡に役場移転。 小浜町（長崎県）霧島町・牧園町三町姉妹盟約。
〃 45	1970	町総合振興計画樹立。町制三十周年。
〃 46	1971	大型農道起工。台風19号による大災害発生、死者 7 人、被害総額 9 億4,000万円。
〃 47	1972	国民休養地建設始まる。国体開催に伴い本町で体力医学会開催。町政週報発行。し尿処理場（牧園・横川町衛生管理組合）開設（宿窪田）。鹿児島空港（溝辺）開港。
〃 48	1973	土地開発公社発足本町加入。国分北消防署（高千穂小谷）開設。国民休養地開設。文化財保護運動発足。大霧開拓団二十五周年記念式。
〃 49	1974	第 1 回霧島競馬（牧園牧場）開催。
〃 51	1976	各校区に公民館組織完成。住民生活相談室スタート。 関平温泉の施設その他一切が完全に町有となる。 町文化協会発足。九面太鼓神宮奉納で初登場。
〃 52	1977	広域農道牧園～栗野間開通。第11回全日本高校馬術競技大会（牧園牧場）に常陸宮殿下御来町。馬込地区の鰐穴群、曾我どん墓（宝篋印塔）を町文化財に指定。
〃 53	1978	北始良清掃センター竣工操業開始（万膳）。雇用促進住宅牧園宿舍竣工（高千穂）。中津川小学校屋内体育館落成。県農村センター、農業大学校となる。
〃 54	1979	牧園町老人福祉センター完成（宿窪田）。三体小学校屋内体育館落成。高千穂授産所閉鎖。農村婦人の家竣工発足（万膳）。伊佐・北始良火葬場（菱刈）管理組合に本町加入発足。
〃 55	1980	牧園町総合振興計画策定。万膳小学校屋内体育館落成。生活改善センター落成発足（三体堂）。持松小学校屋内体育館起工式。B & G 財団牧園海洋センター落成発足（高千穂）。町制四十周年記念祭（町民憲章、町民歌、まきその音頭発表）。「馬の温泉」町営牧場に完成。町商工会館完成。塩浸温泉センター改築（完成）。第 1 回霧島国際音楽祭開催。
〃 56	1981	持松校区公民館落成（持松）。高千穂校区自治公民館区域編成替え（4 地区を 8 地区に編成）。青少年の家完成。持松小学校屋内運動場落成。郷土誌改訂版千部発行。

年 表

年 号	西暦	事 項
昭和 2	1927	鹿児島線を肥薩線と改める。
〃 4	1929	林田温泉発見。与謝野夫妻霧島来訪。
〃 6	1931	満州事変起こる。
〃 9	1934	霧島国立公園指定される。塩浸発電所送電開始。
〃 10	1935	天皇陛下行幸される。
〃 12	1937	日華事変（日中戦争）。
〃 14	1939	第二次世界大戦。
〃 15	1940	牧園町制施行。町観光協会発足。任意団体として、町商工会発足。
〃 16	1941	太平洋戦争開戦。町森林組合設立。
〃 17	1942	持松・笹段～霧島間道路開通。
〃 20	1945	空襲により牧園駅前戦災。太平洋戦争終結。 県立加治木中・女学校牧園分校開設。米海兵隊鹿児島市進駐。
〃 21	1946	和気神社建立（中津川犬飼）。桜島噴火。新憲法公布。
〃 22	1947	下中津川飛地を大字高千穂とする。 各校区に新制中学校創立。初の知事・市町村長公選。
〃 23	1948	県立加治木高校分校（全日制）に新たに町立定時制牧園高校を併設。町農業協同組合設立。町農業共済組合独立。
〃 24	1949	加治木高校牧園分校、県立牧園高校として独立。 ジュディス台風により旧硫黄谷温泉全壊。国立鹿大発足。
〃 25	1950	農林省鹿児島種馬所廃止、牧園町営牧場として経営開始。 総合運動場起工。町上水道工事着工。
〃 27	1952	定時制牧園高校農業科を畜産科に改める。町営住宅建設着工。
〃 28	1953	町営牧場軽種馬育成開始。中津川地区水道施設竣工。
〃 29	1954	牧園高校講堂落成。持松・三休・万膳・高千穂の各中学校独立校となる。新潟災害発生（台風5号）死者9人。
〃 30	1955	関平温泉の泉源を町有に払い下げ。町奨学資金制度発足。
〃 31	1956	万膳地区・牧園地区水道施設竣工。桜島大爆発。
〃 32	1957	町営牧場、緬羊70頭講入。鹿児島市鴨池空港開港。
〃 34	1959	新燃岳爆発。条例改正により議員定数20人とする。
〃 35	1960	農村センター創設。町章決定。国民健康保険制度発足。 町制二十周年記念事業。町広報1号発行。町商工会発足。
〃 36	1961	国民年金制度発足。町体協発足。霧島スカイライン開通。
〃 37	1962	牧園駅を「霧島西口駅」と改名。有線放送開始。 皇太子御夫妻御来町、林田に一泊される。
〃 39	1964	霧島・屋久国立公園と改称。

年 号	西暦	事 項
明治	2	1869 常備隊をおく。版籍奉還。
"	4	1871 廃藩置県。踊郷正則学校発足。 踊（牧園）は都城県に編入。郡長・戸長をおく。 外城常備隊解散。
"	6	1873 美々津、都城県廃止。踊（牧園）鹿児島県となる。第25郷校発足。
"	8	1875 新湯温泉発見。踊郵便所創始。
"	10	1877 西南の役。
"	13	1880 霧島山噴火（御鉢爆発）。県会議員選挙。
"	16	1883 宿窪田・三体・万膳と下中津川・上中津川・持松の2か村に分かれる。
"	17	1884 浅谷用水路竣工。
"	21	1888 霧島山噴火（降灰4、5里に及ぶ）。
"	22	1889 町村制実施。踊郷を牧園村と改め、宿窪田以下6か村を大字に改め、村役場をおく。霧島山噴火（響激雷の如し…）。
"	23	1890 衆議院選挙。第1回帝国議会。教育勅語発布。
"	24	1891 霧島山噴火（降灰のため草木枯れる）。
"	27	1894 清国に対し宣戦布告、翌年講和。
"	28	1895 霧島山噴火（家屋22軒、4人惨死）。
"	29	1896 国立種馬牧場牧園村に開設。桑原郡、始良郡となる。 霧島山噴火。
"	30	1897 八代～鹿児島間鉄道敷設起工。
"	31	1898 霧島山噴火（宮崎・松山・高知で爆音を聞く）。
"	33	1900 同 上（5人の死傷者あり）。
"	34	1901 間手原温泉（間手原）発見。鹿児島～国分間鉄道開通。
"	36	1903 国分～吉松鉄道開通。製材所浅谷に開設。
"	37	1904 日露戦争、翌年講和。
"	38	1905 ラムネ温泉発見。霧島山噴火。
"	40	1907 鹿児島種馬所と改称（高千穂）。
"	41	1908 牧園駅営業開始。義務教育4年から6年へ延長。
"	42	1909 八代～鹿児島間鉄道全線開通。
大正	2	1913 霧島山噴火。
"	3	1914 霧島山噴火（1月8日）。桜島大爆発（1月12日）。 第一次世界大戦。
"	5	1916 水力発電工事開始。
"	10	1921 妙見発電所送電開始。
"	12	1923 ノカイドウ、天然記念物に指定される。
"	13	1924 小作争議（清水・国分・東襲山）。

年 表

年 号	西暦	事 項
寛延	3	1750 玄竜寺墓石銘。
宝暦	2	1752 折橋温泉発見。
〃	3	1753 木曾川治水工事手伝いの幕命を受ける。
〃	5	1755 木曾川治水工事完成。
〃	12	1762 中津川小前の田の神。
明和	4	1767 板碑（三休堂・永岩下の田のあぜ）。
〃	5	1768 7年間の嚴重儉約を達せられる。
〃	6	1769 栗川の田の神。
〃	8	1771 霧島山噴火（降灰数里の田埋没。草木焦げ枯れる）。 聖神社（横瀬）創建。
安永	3	1774 再度の7年間の儉約を達せられる。
〃	4	1775 石敢当（持松甲刃）碑銘。
〃	8	1779 玄竜寺墓石銘。桜島噴火死者150人余。つぶれ家500戸。
〃	9	1780 外城衆中を郷土と改む。
天明	7	1787 玄竜寺墓石銘。重豪隠居、斉宣襲封。
寛政	5	1793 「成形図説」編集始まる（重豪、白尾国柱に命ず）。
〃	12	1800 浜之市（隼人）新田竣工。
文化	2	1805 温泉神社（安楽）境内石碑銘。
〃	3	1806 塩浸温泉発見。
〃	6	1809 斉宣隠居、斉興襲封。
〃	8	1811 日の出温泉発見（文政3年ともいう）。
〃	11	1814 田原の田の神。
〃	12	1815 田の神像（横瀬）。水神（城ヶ後）碑銘。
文政	2	1819 丸尾温泉発見。
〃	4	1821 霧島山噴火（中岳の絶頂から発火……）。
〃	6	1823 花林長春（東郷源七郎の姉）墓碑銘。
〃	8	1825 阿久根郷土、宇治に赴き製茶法伝習、阿久根茶を名産とす。
天保	3	1832 関平温泉発見。
〃	14	1843 『三国名勝図会』60巻成る。
嘉永	3	1850 山之湯温泉発見。
〃	4	1851 斉興隠居、斉彬公襲封。
〃	6	1853 ペリー来航。
安政	5	1858 斉彬没、忠徳（忠義）襲封。
万延	元	1860 桜田門外の変。有村治左エ門参加。
文久	2	1862 栗川温泉（高千穂）発見。寺田屋事件。生麦事件。
慶応	元	1865 横瀬温泉発見（上中津川）。
〃	2	1866 坂本龍馬夫妻塩浸温泉に湯治。犬飼滝など訪れる。
〃	3	1867 王政復古。大政奉還。

年 号	西暦	事 項
寛永	12	1635 牛馬改めをし、牛馬札交付される。
〃	13	1636 玄竜寺跡（三体堂音川山）墓石銘。加治木銭鑄造をやめる。
〃	17	1640 山ヶ野金山発見。
万治	2	1659 霧島山噴火～1661年に至る。
寛文	2	1662 同 上 ～1664年に至る。
〃	3	1663 加治木西別府川工事、新田開発。
〃	6	1666 飯富神社境内、奉寄進石碑銘。国分到新田高500石開発（新川による）。
〃	7	1667 水神（下中津川荒田橋）碑銘。
〃	8	1668 伊邪那岐神社境内の仁王像銘。
延宝	5	1677 霧島山噴火、翌年まで続く。
貞享	4	1687 光久隠居、孫綱貴継ぐ。
元禄	元	1688 鉾投温泉（三体堂）新納久辰増築。
〃	3	1690 霧島山噴火（降灰数日に及ぶ）。
〃	6	1693 板碑（三体堂さん角堂下）銘。鹿児島に大雨洪水。
〃	9	1696 鹿児島に大火、城の本丸以下焼失。
宝永	2	1705 霧島山噴火（神社塔焼失）。
〃	4	1707 玄竜寺墓地墓石銘（三体堂）。
〃	6	1709 同 上 。
〃	7	1710 殿湯温泉発見（享保のころともいう）（高千穂）。
正徳	4	1714 硫黄谷温泉発見（高千穂）。
〃	5	1715 飯富神社境内、山の神碑銘。
享保	元	1716 霧島山噴火（降灰田畑埋没）。東郷源七郎墓舍利塔碑銘。 荒神さあ（犬飼、満田氏宅庭）碑銘。
〃	2	1717 霧島山噴火（田畑埋没）。
〃	6	1721 吉貴隠居、継豊継ぐ。
〃	12	1727 諸外城飢饉、葛などを食料とする。
〃	13	1728 東光寺墓石銘（役場前）。前年来飢饉。 板碑（宇都口・上井宅上の山林）銘。
〃	17	1732 西国筋一帯飢饉。薩摩は甘藷があるため飢民なし。
〃	20	1735 田の神像（堅神社境内）持松（県内で10位、町内の田の神像 中一番古い）。
元文	元	1736 琉球から孟宗竹2本送られ、磯別邸に植栽される。
〃	5	1740 太良温泉発見（万膳）。
寛保	2	1742 墓石銘（三体宇都口、松田方前の田）。
延享	元	1744 栄之尾温泉発見（高千穂）。
〃	3	1746 島津継豊隠居、宗信襲封。
寛延	2	1749 水手屋敷1畝に付き、棕櫚1本植え付けと定められる。

年 表

年 号	西暦	事 項
永禄	7	1564 義弘、加久藤、飯野に鎮し、夫人を加久藤におく。
〃	9	1566 霧島山噴火。義久、守護職を継ぐ。
〃	10	1567 義弘、踊を領す。
〃	12	1569 義久、肝付兼盛に上三体堂を加封。義弘、鉾投温泉を訪れる。
元亀	3	1572 木崎原の戦い、義弘、伊藤兵を破る。
天正	元	1573 肝付兼盛踊を領す。
〃	2	1574 霧島山噴火(天地震動す……)。
〃	4	1576 同 上(4年より6年に至り活動あり)
〃	10	1582 温泉神社修理(肝付弾正修理)。
〃	12	1584 家久、肥前有馬氏と竜造寺氏の兵と島原に戦い、竜造寺隆信を倒す。
〃	14	1586 肝付兼寛、踊(牧園)を領す。島津氏、九州制覇。
〃	15	1587 霧島山噴火。秀吉、出水に入る。島津氏、秀吉に降る。
〃	16	1588 同 上(申酉の間大地震)
〃	18	1590 秀吉、全国平定。義弘、飯野から栗野松尾城へ移る。
文禄	元	1592 文禄の役、義弘、栗野から出陣。
〃	4	1595 肝付兼三(三体堂領)を薩摩喜入に移す。義弘、栗野から帖佐に移る。薩・隅・日の文禄検地(石田三成)終わる。福永助十郎(田原)朝鮮の役で虎狩り。
慶長	3	1598 霧島山噴火(5年に至る)。秀吉死去。征明軍撤退開始。
〃	5	1600 関ヶ原の役。
〃	7	1602 津曲氏、噯として高山から来郷。家康、薩・隅・日所領安堵 ^ど 。
〃	11	1606 島津忠恒、家久と改名。国分梅木に煙草試植(服部宗重)。
〃	12	1607 義弘、平松から加治木に移住。
〃	18	1613 霧島山噴火(翌年まで続く)。
〃	19	1614 東郷源七郎忠直、三体堂村に移る。
元和	元	1615 霧島山噴火。一国一城の制定まる。
〃	3	1617 同 上(翌年まで続く)。
〃	6	1620 島津家久、源七郎忠直に三体堂村714石の地を与う。
〃	7	1621 東郷源七郎墓石銘(田原)。
〃	9	1623 持松村を踊郷に合併。踊郷創設(『県地名辞典』)。
寛永	元	1624 明ばん温泉発見(高千穂)。
〃	4	1627 家久、新納四郎忠直に三体堂村を与う～至1643年。
〃	5	1628 県下の田に虫害あり、翌年にかけて飢饉となる。
〃	9	1632 霧島山噴火(社寺宝物焼亡)。
		初めて一向宗改めをし、日向高原その他諸所の門徒を処分する。

年 号	西暦	事 項
弘安	4	1281 蒙古軍来襲（弘安の役）。
元弘	3	1333 鎌倉幕府滅亡。
建武	元	1334 建武の新政。島津貞久、大隅国守護職に補せられる。
〃	2	1335 横川町赤水の岩戸観音造立。このころ真幸院は日下部氏から北原氏へ。
延元	3	1338 足利尊氏、幕府創設。
〃	4	1339 栗野稻葉崎黄金塔建立。
正平	17	1362 白崎（持松）の宝塔。曾我どん墓（三体堂中福良）宝篋印塔（康安2年）。
〃	18	1363 島津師久（総州家）は薩摩国守護。島津氏久（奥州家）は大隅国守護。
元中	9	1392 南北朝合一。
応永	11	1404 幕府、島津元久を日向・大隅の守護に補する。
〃	16	1409 元久、薩摩守護職に補せられる。
〃	32	1425 島津忠国、薩・隅・日三国の守護職に補せられる。
永享	9	1437 伊邪那岐神社（妙見神社）税所介敦武建立。税所氏、踊を領す（永享中）。
応仁	元	1467 応仁の乱起こる。
文明	15	1483 税所氏の没落。
永正	7	1510 このころ以降、薩・隅・日三国大いに乱れる。
大永	元	1521 白崎・持松、樺山長久（北郷資忠二男）所領。
〃	4	1524 霧島山噴火。
〃	6	1526 北原氏、踊（牧園）を領す。
〃	7	1527 勝久、貴久に家督を譲る。
享禄	元	1528 北原氏の最盛期、栗野・横川・踊（牧園）、北原氏領す。
天文	4	1535 北原兼守、踊（牧園）の領主。
〃	11	1542 島津忠良・貴久、北原祐兼と結ぶ。
〃	12	1543 鉄砲伝来（種子島）。
〃	18	1549 キリスト教伝来。世戸口・持松、北郷忠相所領。
〃	19	1550 北原兼親、踊（牧園）の領主。島津貴久、鹿児島城に入る。
〃	20	1551 下石坂甚介氏（石坂）先祖位牌銘。
〃	21	1552 堅神社（持松）、北郷忠相・忠親建立。
〃	23	1554 霧島山噴火。島津貴久、岩剣城攻囲、この合戦に島津軍鉄砲を使用し岩剣城落城。
永禄	5	1562 このころ北原氏に内訌あり。踊城（牧園）主白坂佐渡介、島津氏に降る。菱刈隆秋、島津氏に帰服、横川城を与えられる。
〃	6	1563 貴久、伊藤氏と戦い敗北。

年 表

年 号	西暦	事 項
天平 2	730	大隅・薩摩の百姓いまだ班田せず、旧に従って墾田を許す。
〃 12	740	藤原広嗣の乱に隼人軍先鋒 ^{ほうりゅう} となって活躍。
〃 14	742	霧島山噴火。大隅国大地震。
〃 15	743	墾田永世私財法。
〃 18	746	日向国大暴風雨。養蚕損傷、調庸を免ぜられる。
天平勝宝 7	755	大隅国、菱刈郡を設置。
天平神護 2	766	道鏡法王となる。日・薩・隅大風、桑麻損ず。柵戸の調庸を免ず。
神護景雲 3	769	和氣清麻呂、大隅（牧園町下中津川犬飼）に流される。
宝亀 元	770	和氣清麻呂配所より召し返さる。
〃 3	772	中臣習宜阿曾麻呂が大隅守となる。
延暦 7	788	霧島山大噴火（峰下5.6里沙石積もること2尺……）。
〃 10	791	豊後・日向・大隅など飢饉。
〃 13	794	奈良から京都（平安京）に遷都。
〃 19	800	大隅・薩摩両国百姓の墾田を収め、初めて班田を行う。
弘仁 6	815	薩摩の国、蝗害により田租を免ず。
延喜 元	901	飯富神社創立（応和年間961～963ともいう）。
天慶 8	945	霧島山噴火（猛火熾んにしてやまず……）。
応和 3	963	性空上人、霧島六社権現を開く。
治安 元	1021	税所篤如、正八幡宮並びに霧島宮司職に補任さる。
万寿 3	1026	平季基、島津荘を開発する。
天永 3	1112	霧島山噴火（西峰噴火、神社焼けず……）。
永久 元	1113	同 上（社殿焼けず）。
康治 元	1142	安楽温泉発見。温泉神社創立。
応保 2	1162	条里制記録に、三体堂田初見。
仁安 2	1167	霧島山噴火（西生寺殿堂焼崩……）。
文治 元	1185	平氏滅亡。島津忠久、島津荘下司職に補任。
〃 2	1186	忠久、地頭職に封ぜらる。藤原篤頼、用松（持松）15町を領す（建久中）。
建久 3	1192	頼朝征夷大將軍、幕府創設。
〃 8	1197	薩・隅・日三州図田帳なる。
建仁 2	1202	八幡神社創立（万膳）。
承久 元	1219	源氏滅亡。承久のころ、横川藤兵衛尉時信、横川を領す。
〃 3	1221	承久の変。
文暦 元	1234	霧島山噴火（社寺什宝等焼失す）。
文永 11	1274	蒙古軍来襲（文永の役）。
建治 2	1276	博多湾防備の石築地造築始まる。持松15尺、上三体堂6尺、下三体堂6尺の造築割り当てあり。

◆牧園町郷土誌年表

—線は郷土関係

年 号	西暦	事 項
		縄文時代の土器破片、持松・三体堂・万膳地区の高原地帯から出土している。
		・ 7～8000年ほど前（早期）の土器
		・ 5～6000年ほど前（前期）の土器
		・ 4～5000年ほど前（中期）の土器
		・ 3～4000年ほど前（後期）の土器
	57	倭奴国、後漢に遣使。
		熊襲背く。
		日本武尊、川上臯帥を殺す。
	239	卑弥呼、魏に遣使。
允恭 元	412	額田部湯座連を薩摩に遣わし隼人を征した。
	538	仏教伝来（552）。
敏達 14	585	敏達天皇の ^{ひん} 殯宮を隼人に守らせる。
大化 元	645	大化改新。
天武 元	672	この年、大隅台明寺が建てられる（国分）。
〃 11	682	隼人上京、方物を貢する。大隅隼人・阿多隼人の天覧相撲で大隅隼人が勝つ。
〃 14	685	天武天皇、畿内隼人の大隅直に ^{いみき} 忌寸の姓を賜う。
持統 6	692	筑紫大宰、河内王に詔して沙門を大隅と阿多に遣わし、仏教を伝えさせた。
文武 3	699	太宰府に三野（宮崎県）、 <u>稻積（牧園）</u> の二城を修築させる。
大宝 元	701	律令制度完成。
〃 2	702	^{はあ} 唱吏国内要害の地に ^き 柵を ^{じゆ} 建て戍をおく。
		薩摩・多 ^{たね} 嶺 ^ね 両国創置。
和銅 3	710	隼人らに宴を賜い位を授け禄を賜う。平城京遷都。
〃 5	712	『古事記』完成。
〃 6	713	日向国肝付・贈於・大隅・始良の四郡を割き大隅国をおく。
養老 4	720	『日本書紀』最終的にできあがる。隼人反乱、大隅国守陽候史麻呂殺さる。大伴旅人、隼人を征討。
〃 7	723	大隅・薩摩二国の隼人624人朝貢し、風俗歌舞を奏す。三世一身法。

参 考 文 献

日本の民話	椋 鳩十	溝辺町郷土誌	
日本の民俗	村田 瀧	加治木郷土誌	
神代三山陵	鹿児島県史談会	国分郷土誌	
薩藩旧伝集	歴史図書社	志布志町誌	
本居宣長全集	大野 普	郡山郷土史	
しづのおだまき	白尾国柱	金峯町郷土誌	
庚申信仰	平野 実	高山郷土誌	
カヤカベ	竜谷大学	小浜町史談	
神仏分離史料	辻善之助外	牧園時報	牧園町役場
宗教以前	NHK出版	牧園町振興計画書	同 上
上井寛兼日記	県図書館	牧園町勢要覧	同 上
称名墓誌	歴史図書社	一般時報	前田 済
新七遺稿	有馬新七	文化牧園1～10号	町教育委員会
都日記	同 上	まきぞの40・50	牧園町役場
島津斉彬公	中村徳五郎	広報まきぞの	同 上
西郷隆盛全集	村野守次外	喜入町誌	
坂本龍馬全集	宮地佐一郎	指宿市誌	
坂本龍馬	八尋舜右	高原町史	
竜馬がゆく	司馬遼太郎	溝辺町郷土誌続編	
日本の合戦	高柳光寿	穎娃町郷土誌改訂版	
鹿児島歳時12月	小野重朗	さんぎし(昭37)	
日本随筆大成	吉川弘文館	鹿児島県地名大辞典	角川書店
斎藤茂吉全集23		南九州のロマン	中村明蔵
歌集高千穂	斎藤茂吉	日本の歴史	井上 清
霧島の歌	与謝野寛	日本史探訪	角川書店
マウント霧島	山川鉄三郎外	倭の女王卑弥呼	豊田有恒
加治木の太鼓おどり	県立図書館	卑弥呼の謎	安本美典
鹿児島の民俗探究	鹿児島民俗学会	牧園町議会だより	牧園町議会
鹿児島民俗散歩	小野重朗	埋蔵文化財の知識	
かごしまの方言集	黒木弥千代		鹿児島県教育委員会
島津家系図	尚古集成館	牧園町埋蔵文化財発掘調査報告書	
薩藩叢書(3)	伊地知茂七		牧園町教育委員会
日本史用語大辞典(1)(2)	柏 書房	牧園町教育行政要覧	〃
校誌「甲南」	甲南高校		
松山郷土誌			
栗野町郷土誌			
横川町郷土誌			
隼人郷土誌			
霧島町郷土誌			

◆牧園町郷土誌参考文献

縄文時代	鎌木義昌	鹿児島県史	鹿児島県
鹿児島県史料（旧記雑録）		西藩野史	得能通昭
三州諸家系図纂	川崎大十	鹿児島県遺跡地図	県教育委員会
薩隅日古戦場記	県図書館	鹿児島県遺跡地名表	同 上
薩隅沿革地図	鹿児島市	大隅国建久図田帳小考	五味克夫
地理纂考	樺山資雄	大隅の御家人について	同 上
薩陽武鑑	蛟島 某	薩摩の古府	藤井重寿
地誌備考和16冊	県図書館	高城国府	同 上
桑原郡地誌備考	同 上	薩摩国衙領考六題	同 上
薩摩銘鑑	同 上	大隅薩摩高城国府	同 上
かごしま古代地名考	平田信芳	鹿児島県埋蔵文化財発掘調査	
薩隅日地理纂考	鹿児島教育会	報告書	県教育委員会
薩摩風土記	県図書館	和気清麻呂	平野邦雄
諸家系図	同 上	平山泰介事績	山口雄一・森市介
本藩人物誌	同 上	神話と霧島	窪田仲市郎
和名抄	同 上	鹿児島県災害史	鹿児島測候所
三国名勝図会	山本盛秀	鹿児島県災異誌	鹿児島県
日本書紀	山田秀雄	鹿児島県政党史	薩藩史料調査会
古事記伝の研究		鹿児島県議会要覧	県図書館
熊本県の歴史	森田誠一	鹿児島県町村議員名鑑	同 上
熊襲と隼人	井上辰雄	鹿児島県農業史	鹿児島農学部
隼人の楯	中村明蔵	鹿児島県農業協同組合史	県農協
鹿児島の歴史	県社会科教育研究会	鹿児島県畜産史	中村初枝外
鹿児島県の歴史散歩		鹿児島県神社一覽	県図書館
	県高校歴史部会	日本産業史大系	地方史研協
歴史散歩事典	井上光貞	薩隅煙草録	宮本又次外
鹿児島県の歴史	原口虎雄	日本山林沿革史	桑幡福夫
宮崎県の歴史	日高次吉	種子島銃	洞 富雄
日本史	井上光貞外	虎 狩	島津久通
日本史	宝月圭吾外	虎狩物語	同 上
図説歴史（上）	学習研究社	朝鮮征伐島津勢虎狩絵巻	村瀬宣得
日本国家の起源	井上光貞	朝鮮国征伐記摺撫拔萃	県図書館
体系日本史叢書	森本義彰	戦国島津戦記	松元十九
岩波講座日本歴史	岩波書店	地名どくほん	山崎盛隆

— ロ —

老人福祉センター	545
六曜星	832
六観音池	728

— ワ —

若山牧水	317, 732
和気公遣跡碑	789
和気公址	413
和気神社	780
和気清麻呂	324, 325, 780, 790
和気の湯	156
俳優(わざおぎ)の民	51

平山家…………… 249
平山忠統…………… 230

— フ —

福昌寺…………… 268
福永助十郎…………… 230, 231, 272
藤原不比等…………… 114, 120
仏法僧鳥(ブッポウソウ)…………… 281
賦米(賦役米)…………… 252
麓…………… 241
文化財少年団…………… 687
文之…………… 266
不動池…………… 728

— ヘ —

兵衛察見…………… 259

— ホ —

宝篋(ほうぎょう)印塔…………… 213, 214, 791
方限…………… 244, 245
鉢投温泉…………… 744
宝塔…………… 215, 218, 791
火須勢理命…………… 51
北郷氏系図…………… 197
梵字…………… 220
本府…………… 272

— マ —

牧園町総合運動場…………… 702
牧園小学校…………… 269, 656, 797
馬込颯穴群…………… 758, 759, 760
丸岡山…………… 725
丸尾温泉…………… 736, 737
丸尾滝…………… 9, 729, 731
万膳…………… 35, 248

— ミ —

水原秋桜子…………… 732
溝下見掛…………… 250

溝見廻…………… 242
南日本新聞…………… 497, 876
宮地惣右衛門…………… 272
ミヤマキリシマ…………… 16, 711
妙見温泉…………… 754
妙見神社…………… 20, 299
妙見の湯…………… 412
名頭…………… 244, 245

— ム —

霧氷…………… 21
無屋敷土…………… 250

— モ —

用松(持松)…………… 173, 181, 220
森市介…………… 205, 268, 356, 379
森家…………… 256
森良邦…………… 265

— ヤ —

役米…………… 252
陽侯史麻呂…………… 114
山の幸…………… 50, 51
邪馬台国…………… 81
ヤマトタケル…………… 99

— ユ —

湯ノ谷温泉…………… 743

— ヨ —

横川氏…………… 189
横瀬温泉…………… 740
横目…………… 241
与謝野晶子…………… 318, 411, 733
吉田蘭皐…………… 273, 320
吉野ケ里遺跡…………… 80

— ラ —

ラムネ温泉…………… 753

田の神講……………	861	中津川……………	112, 141, 146, 248
丹後局……………	165	永留氏……………	213, 214, 215, 217
檀那……………	253	永留氏系図……………	214
— チ —		中野古墳……………	92
秩禄処分……………	354	名子……………	244
中陵漫筆……………	309, 312	南洲翁宿宮の跡……………	788
朝貢……………	121, 122, 123, 124	— ニ —	
徴兵令……………	353	日本書記……………	44, 47, 55, 100
調庸……………	127, 128	二十四節気……………	833
条里制……………	130, 139	二歳咄格式定書……………	249
— ツ —		— ネ —	
ツゴドン墓……………	792	年間行事……………	804
津曲兼值……………	248	— ノ —	
— テ —		農村婦人の家と生活改善センタ ー……………	539, 540, 541
帝紀……………	44, 46	ノカイドウ……………	710
手島森右衛門……………	264	野町……………	254
鉄砲身構秘法……………	263	— ハ —	
寺請……………	266, 301	幕藩体制……………	234, 301
寺請制度……………	253, 301, 357	栢見廻……………	242
寺田屋騒動……………	330	八幡……………	300
天狗……………	322	はついで……………	288
— ト —		八田知紀……………	151, 323
東郷源七郎忠直……………	203, 204, 793	早馬サア……………	295
東光寺……………	268, 797	林田温泉……………	738, 739
東郷重位……………	258	ハリサシ……………	288
トシツ……………	290	藩政要録……………	249
富尾寺……………	270	— ヒ —	
虎狩……………	230, 231	B & G財団牧園海洋センタ ー……………	688
動物……………	717, 718	挽き鋸……………	288
— ナ —		比志島家……………	248
仲川郷……………	115, 118, 146	卑弥呼……………	81
中岳……………	13, 721	百二外城……………	239
永田与右衛門……………	265	ヒヤスイ……………	290
仲ツ川……………	151, 199, 221		

三角(さんかく)堂…………… 299, 796
 三国名勝図会…………… 49, 53, 54, 146, 273
 三合米…………… 252
 三觚堂…………… 20, 92, 134, 139, 229
 三代堂城…………… 188, 207, 227

— シ —

塩浸温泉…………… 10, 338, 748, 752
 地固め歌…………… 288
 宿窪田…………… 34, 92, 205, 247
 自顕流…………… 258
 示現流…………… 258
 示現流次第秘法…………… 259
 示現流比喻…………… 259
 十干…………… 825
 地頭…………… 241, 243
 地頭仮屋…………… 241
 司馬遼太郎…………… 338
 唱更国…………… 106, 107
 島津氏略系図…………… 168, 224, 226
 島津庄…………… 168
 杓取り…………… 306
 十二支…………… 826
 襲峯一覧…………… 313
 宗門改役…………… 240
 守護代…………… 240
 朱子学…………… 265
 生涯学習…………… 681, 691, 692
 常備隊…………… 348
 正福寺…………… 783
 庄屋…………… 242
 植樹祭…………… 798
 白尾国柱…………… 323, 331
 白坂美濃守…………… 247
 白鳥山…………… 725
 親幸…………… 302
 真宗の解禁…………… 355
 真福院…………… 301, 797
 新燃岳…………… 8, 13, 16, 722

新湯…………… 351, 848
 新湯温泉…………… 742

— ス —

水天宮…………… 782
 すき…………… 283

— セ —

生活改善センター…………… 541
 世紀…………… 60
 成形成図…………… 272
 青少年の家…………… 689
 性理の説…………… 266
 西暦…………… 58
 石鑑…………… 65, 76
 関平温泉…………… 740, 741
 石斧…………… 65, 73, 76
 セツダ(雪駄)…………… 289
 石敢当…………… 296

— ソ —

造士館…………… 330
 曾我どん墓…………… 213, 991

— タ —

太閤検地…………… 228, 236
 太鼓踊…………… 258, 834
 大山野…………… 250
 代米…………… 252
 平季基…………… 166
 台明寺文書…………… 131, 133, 134
 高尾山寺址…………… 156
 高千穂…………… 36, 53, 223
 高千穂の峯…………… 8, 13, 16, 719
 高智穂の峯…………… 308, 719
 高千穂河原…………… 726
 竹原田…………… 131, 134, 140, 141
 堅神社…………… 199, 200, 777, 865
 堅大明神…………… 300

カタメスタダイ	290
河伯祭り	153
カテモン	290
門	240, 252
門付山	278
家部	244
学校給食センター	677
亀園湖	153
韓国宇豆峯神社	139
韓国岳	8, 12, 14, 723
韓国嶽	139
川上助七久如	243
観光姉妹町	707
雁爪	283
欠米	251

— キ —

魏志倭人伝	80, 81
北原氏	200, 203
北原氏系図	201, 202
逆修塔	215, 217
旧辞	44, 46
給地高	240, 251
弓道口伝秘法	264
牛馬役	242
清丸	324
霧島温泉	735, 761
霧島神社	796
霧島関	441, 876
霧島国際音楽祭	691, 762

— ク —

熊襲穴居跡	790
くまその洞穴	96
組頭	241
蔵入高	251
桑東郷	115, 132, 136, 170, 194
桑西郷	117, 171, 174
久波波良	115

桑原郡	115, 141, 142, 147
郡長	352, 370

— ケ —

桂庵	266
警護番役	180
元寇防塁	182
ケンジ(床献酬)	288
玄積和尚	268
玄龍寺	270

— コ —

飢餓	725
古事記	44, 48, 55, 100
郷校	356
郷士	249, 258, 272
郷士年寄	241
公定価格	355
郡奉行	240
郡見廻	242
黒曜石	61, 91
戸長制	348, 351

— サ —

西郷	152, 331, 364, 368
税所氏系図	190, 192
税所氏	190, 193, 195, 197
税所祠	197
斎藤茂吉	414, 732
坂本龍馬	338, 755, 757
薩藩画人伝	272
薩藩政要録	244
薩藩名勝考	326
薩摩見聞記	254, 332
さつま寺	305
薩藩樟脳	279
薩藩府学板	250, 327
相良氏	225, 227
土踊り	258

◆牧園町郷土誌索引

— ア —

赤靱	283, 285
葦上村	134, 139
畦地観音	324
噺(あつかい)	241, 249
天逆矛	53, 54, 55
天降川	4, 9, 10
有田川	19
有馬新七	330
荒田	296
安楽の温泉神社	246, 753

— イ —

飯富神社	299, 774
硫黄谷温泉	315, 739
伊邪那岐神社	776
石築地役	181
伊集院氏	248
板碑	218, 219, 220
—門家	239
—りん坊	320
—所持	239
伊東草臣	790
稲造踊り	842
稲積翁	153, 156, 157, 790
稲積郷	97, 117, 119, 146
稲積城	97, 102, 103, 104, 118, 119, 145
稲積の里	141, 145
稲富流	262
大飼滝	10, 297, 324, 757
用夫のがれ	244
いぼ地藏	298
いろは歌	266
祝橋	853

— ウ —

うえ木高	252
浮免	250
海の幸	50, 51
梅北氏	248
上井寛兼	324

— エ —

額娃家	249
永作	250
エドヒガン	801
栄之尾温泉	315, 793
可愛峽の湯	272

— オ —

オイツサマの墓	795
甌穴群	758, 759
小碓城	96, 853
大伴旅人	114
大浪池	7, 9, 13, 726
大庭正庵	265
踊	188, 189, 197, 205
踊川	19
踊郷	20, 97, 142, 188, 348
踊城	142, 188, 205, 792
御鉢	719
飢肥	237
折橋温泉	754, 755
温泉神社	778

— カ —

海音寺潮五郎	732
改田城	206
貝塚	77
抱地	249
笠取戦跡	789
笠取峠	369
刈敷	283

牧園町郷土誌 改訂版

平成三年十月十六日 印刷
平成三年十月三十一日 発行

編集者 牧園町郷土誌編さん委員会

発行者 牧園町長 川畑義照

印刷所 第一法規出版株式会社

九州支社 福岡市中央区大手門三丁目五一

(TEL)〇九二(七四一)六〇〇六

